

平成30年6月30日時点で実施されていた患者申出療養の実績報告について

平成30年度（平成29年7月1日～平成30年6月30日）実績報告より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（平成30年6月30日現在）	4種類
② 患者申出療養機関数（平成30年6月30日現在）	23施設※1
③ 総金額（④+⑤）	約2.3億円
④ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約1.6億円
⑤ 患者申出療養費用の総額	約0.7億円
⑥ 総金額のうち患者申出療養費用の割合（⑤ / ③）	32.2%

※1 1施設で複数の患者申出療養を実施している場合でも、1施設として計上している。

平成30年6月30日時点で実施されていた患者申出療養の実績報告について

平成30年度（平成29年7月1日～平成30年6月30日）実績報告等より

	患者申出療養
① 患者申出療養技術数（平成29年 6月 30日現在）	4種類
② 新規承認技術数	-
③ 保険収載技術数	-
④ 実施取り下げ技術数	-
⑤ 削除技術数	-
⑥ 患者申出療養技術数（平成30年6月30日現在）	4種類

< 過去の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用療養 費の総額 (保険診療分)	患者申出療養 の総額	全医療費のうち患者 申出療養分の割合
平成28年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H28.4.1～H28.6.30 (3ヵ月)	0	-	-	-	-	-	-
平成29年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H28.7.1～H29.6.30 (12ヵ月)	4	21施設	111人	約2.2億円	約1.6億円	約0.6億円	26.1%
平成30年6月30日時点で実施され ていた患者申出療養の実績	H29.7.1～H30.6.30 (12ヵ月)	4	23施設	84人	約2.3億円	約1.6億円	約0.7億円	32.2%

平成30年度(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の患者申出療養の費用

告示 番号	患者申出療養技術名 (適応症)	開始年月日	総合計 (円)	患者申出療養 費用の総額 (円)	平均 入院期間 (日)	実施件数 (件)	1件あたりの 患者申出療養費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	平28. 10. 14	95,635,740	22,554,300	9.2	79	285,497	16
2	耳介後部コネクターを用いた植込み型補助人工心臓による療法 (重症心不全)	平29. 3. 3	130,827,654	48,411,000	139.3	3	16,137,000	1
3	リツキシマブ静脈内投与療法 (難治性天疱瘡)	平29. 5. 2	3,142,258	2,940,474	2.0	2	1,470,237	1
4	チオテパ静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びエトポシド 静脈内投与並びに自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 (髄芽腫、原始神経外胚葉性腫瘍又は非定型奇形腫様ラブドイド腫瘍)	平29. 5. 2	-	-	-	-	-	-
合 計			229,605,652	73,905,774		84	879,831	18

※未実施により実績報告がないものは「-」としている。

平成30年度(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の患者申出療養の
開始年月日、終了予定日、協力医療機関数及び年間実施件数

告示 番号	患者申出療養技術名 (適応症)	臨床研究中核病院名	開始年月日	終了予定日	協力医療 機関数	年間実施件数 (平成29年7月 ～平成30年6月 までの実績)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	東京大学医学部附属病院	平28.10.14	平31.10.14	20	79
2	耳介後部コネクターを用いた植込み型補助人工心臓による療法 (重症心不全)	大阪大学医学部附属病院	平29.3.3	平32.12.31	-	3
3	リツキシマブ静脈内投与療法 (難治性天疱瘡)	慶應義塾大学病院	平29.5.2	平35.3.31	-	2
4	チオテパ静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びエトポシド静脈内投与並びに自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 (髄芽腫、原始神経外胚葉性腫瘍又は非定型奇形腫様ラブroid腫瘍)	名古屋大学医学部附属病院	平29.5.2	平31.11.30	-	-

※ 終了予定日は、医療機関より提出された実績報告(平成30年6月30日時点)から抽出したものであり、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。

1年間(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の実施件数が
0件である患者申出療養技術に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	臨床研究中核病院名	実施医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 昨年度の実績 (実施可能である すべての医療 機関の実績)
4	チオテパ静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びエトポシド静脈内投与並びに自家末梢血幹細胞移植術の併用療法 (髄芽腫、原始神経外胚葉性腫瘍又は非定型奇形腫様ラブドイド腫瘍)	名古屋大学医学部附属病院	名古屋大学医学部附属病院	適格症例の発生がなく、症例登録も平成29年8月31日で終了したため。	登録は終了しているため対策はなし	1件

※「-」は昨年度未実施の医療機関